

中国、貿易総額9倍に

WTO加盟20年 世界シェア、米超え

【北京＝川手伊織】中国が世界貿易機関（WTO）に加盟して、12月で20年を迎える。貿易総額は9倍に拡大し、世界貿易に占めるシェアは米国を上回った。多国間貿易を推進する姿勢を前面に出して地域貿易の主導権確保を狙うが、国有企業の優遇見直しなど国内改革は停滞している。

国有優遇など改革は停滞

「20年間、中国は加盟 国際輸入博覧会開幕式 時の公約を全面的に履行 してきた。全体の関税率 は7・4%と、公約の9 ・8%を下回る」。中国 の習近平（シー・ジンピ ン）国家主席は4日、中 国国際輸入博覧会開幕式 の演説で、WTO加盟後 の実績を強調した。

5日に上海市で開いた

ハイレベルフォーラムで

は習氏の盟友、王岐山（ワ

ン・チーシヤン）国家副

主席があいさつし「中国

は引き続き高水準の対外

開放を広げていく」と語

った。

中国は安い人件費を武

器に「世界の工場」とし

て輸出を伸ばす一方、段

階的な関税の引き下げで

輸入も増やした。国連貿

易開発会議（UNCTAD）

によると、20年の輸

出は2001年の9・7

倍、輸入は同8・4倍と

なった。

への加盟も申請した。米 国との覇権争いを有利に したいとの思惑が透け てる。

った。輸出品目をみると、 加盟当初は労働集約的な 衣料品などが主力だった が、最近ではパソコンや スマートフォンの出荷も 伸びている。

世界貿易に占める中国 の比率は01年の4%から 20年には13%に達した。 13年には米国を追い抜い た。日本を含む多くの国 にとって最大の貿易相手 国になった。

米国がインド太平洋地 域での自由貿易協定（F TA）の枠組みに慎重な 姿勢をとるなか、中国は 積極的に参加する方向に かじを切っている。8年 越しで合意した東アジア の地域的な包括的経済連 携（RCEP）は22年1

月の発効が決まった。 今年9月には、自由化 の水準がより高い環太平 洋経済連携協定（TPP）

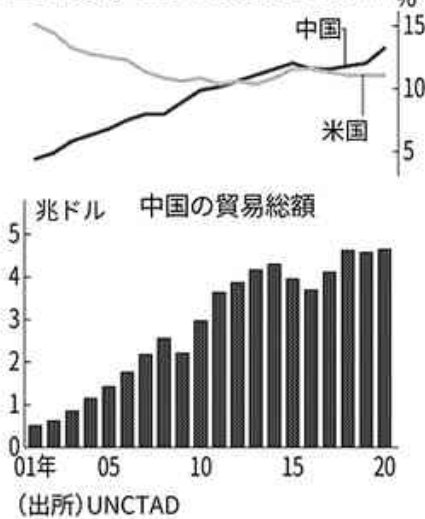
への加盟も申請した。米 国との覇権争いを有利に したいとの思惑が透け てる。

習氏は4日夜の演説で 「中国は積極的かつオー プンな姿勢で、産業補助 金や国有企業といった議 題について協議する」と 述べ、海外が疑問視する 問題を挙げて交渉に応じ る方針を示した。

それでも、TPPの高 度な要求を満たす覚悟が あるとは言い切れない。 例えば習氏も言及した国 有企業だ。TPPは競争 をゆがめる優遇を禁止す る。海外は中国の国有企 業優遇を問題視するが、 中国は「独立した市場主 体で、特別な待遇は受け ていない」（商務省の王 受文次官）と制度論で反 論している。

WTOが10月に開いた 中国の貿易政策に関する 審査では加盟国が250 0件を超す問題を提起。 前回18年の審査より16% 増えた。中国への期待と ともに懸念が高まっている。 ことを物語っている。

世界貿易の比率は米国を抜く



貿易総額は同じ期間に 9・1倍に膨らみ、2・ 8倍だった世界貿易の拡 大ペースをはるかに上回

掲載日 2021年11月7日 日本経済新聞 朝刊 5ページ ©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。